



# えいなん

## 「交通安全のアサガオ」～7月2日（月）朝礼でのお話～

この花は…そう「アサガオ」です。どこにあるかということ…「職員室前」です。ここに白い札があります。札には「交通安全のアサガオ」と書いてあります。

これは、5年前、当時小学校1年生だった息子さん（けんちゃん）を交通事故で亡くされた高田さんからいただいた種「交通安全のアサガオ」です。のぞみ学級のみんなを中心に世話をしてもらい、今ちょうどきれいな花が咲き始めました。

今から「交通安全のアサガオ」のお話をします。

2016年2月、下校途中に青信号で横断歩道を渡っていたときに、右折をしてきた2トントラックにけんちゃんは、ひかれました。原因は、運転手の不注意でした。けんちゃんは、すぐに救急車に運ばれ、大手術を行いました。が、7時間後に亡くなりました。高田さんが、ほっぺをさわると、まだ温かく柔らかかったそうです。けんちゃんには、7歳上にお姉ちゃんがありました。本を読んであげたり、いっしょに遊んだりして、とても仲良しの姉弟でした。中学生のお姉ちゃんが「こんなに悲しいことがあるんだ」と言ったときのことが今でも忘れられないそうです。

大切なけんちゃんをなくし、高田さんは、ショックで家のことができない日が何日も続きました。が、警察の方の支えや中学生のお姉ちゃんや、お母さんを励まそうとがんばっている姿を見て、少しずつ元気を取り戻し始めました。そんなときに、けんちゃんが育てていた朝顔の種を、下駄箱の中でみつけました。けんちゃんは、ときどき庭で種を投げて遊んでいたそうです。いたずら好きのけんちゃんが下駄箱に隠したのでしょうか。けんちゃんが残した朝顔の種を「交通安全のアサガオ」と名付け、高田さんは、交通事故防止について全国でお話をし、朝顔の種を渡してみえます。先日、蟹江警察署にも来ていただきました。

高田さんから、みんなへのメッセージを伝えます。

「アサガオを見るたびに、交通安全を思い出してほしい。事故で誰も悲しい思いをしてほしくない。一人一人の心がけで、事故を減らしてほしい」

弥富市が「交通事故から命を守ろう」と願いを込め、みなさんにヘルメットを渡しています。今は、熱中症対策で日傘や帽子を使うこともあるので、特に注意が必要です。

今朝、登校時に、こんなすてきな姿を見ました。

1列でしっかり並んでいる班。みんな手を挙げて横断歩道を渡っていました。横断歩道を渡るとき、停まってくれた運転手さんにしっかりおじぎをした子がいました。横断歩道を渡る直前に、一度立ち止まり後ろを振り返って、1年生を確認した6年生の班長さんがいました。交通事故防止は「一人一人にできる心がけ」からです。あなたは何かができますか。考えてください。

★校長講話の原稿を載せました。みんなで交通事故防止に努めていきたいと考えます。





# 学校の様子

